

総務省 御中

『ICTリテラシー育成のための実践的な枠組みに関する調査研究』

ICTリテラシー育成のための
実践的な取組に係る事例集

平成24年 3月



三菱UFJリサーチ&コンサルティング

目次

1. 高齢者に対する買い物支援を通じたICTリテラシー向上の取組事例
2. 子どもが遊びを通じてICTリテラシーを高める取組事例
3. 高齢者から子どもまで交流を通じて地域のICTリテラシー向上を目指す取組事例
4. 子どものケータイの使用法からICTリテラシーを見直す授業などの取組事例
5. 幅広い年齢層を対象に地域全体のICTリテラシー向上を目指す取組事例
6. Webサービス会社による授業や教材でICTリテラシーを学ぶ取組事例
7. 経済自立につながるICTリテラシーを学ぶ取組事例
8. ケータイゲームを中心にICTリテラシー向上を目指す取組事例
9. セキュリティ知識を学んでICTリテラシーを高める取組事例
10. 学生がインターネット販売実践を通してICTリテラシーを高める取組事例

《対象者別一覧》

NPO法人：事業として

企業：CSR活動として

対象者 実施団体	子供向け (小学生)	子供向け (中高生)	保護者 向け	教師 向け	高齢者 向け	備考
1. TRYWARP	子どもネット安全教室				まごころネット、 パソコン講習	大学生 パソコンライフ応援計画
2. CANVAS	キッズ地域情報発信 基地局など					
3. シニアSOHO三鷹	ネット安全教室				パソコン講座	
4. 企業教育研究会	教材提供、出前授業	教材提供、出前 授業	教材提供	教材提供		
5. e-Lunch	インターネット安全教 室	ケータイ安全利 用教室	研修会	研修会	パソコン講座	主婦 パソコン講座
6. ニフティ	出前授業 (市民科)	出前授業 (市民科)	セミナー	セミナー		
7. マイクロソフト					UPプログラム	ひきこもり、女性 経済自立をIT技術を教えること で支援するUPプログラム
8. DeNA	出前授業、企業訪問、 「マナー&セーフティ」 の提供	出前授業、企業 訪問、「マナー& セーフティ」の提 供	講習会	講習会		
9. トレンドマイクロ	親子向けセキュリティ イベント		親子向けセ キュリティイ ベント			
10. 楽天	出前授業	出前授業、楽天 IT学校	講座	講座		

1. 高齢者に対する買い物支援を通じたICTリテラシー向上の取組事例

活動概要

NPO法人TRYWARPは、高齢者に対する買い物支援事業としてSNSを利用した「まごころネット」を構築するなど、西千葉を中心とした地域、特に高齢者のICTリテラシー向上に貢献している。ICTを利用した安心・安全なライフスタイルを提供する試みを実施している。

【まごころネット】

SNSとECサイトを連携させ、地域内で商品を買いたい側と売りたい側のマッチングを促す仕組みである。「買いたい側」とは、買い物弱者層と呼ばれる高齢者を主に想定している。彼らが外出しなくても買い物できるシステムを構築した。操作方法は、TRYWARPが実施しているパソコン講習に参加した「地域ICTサポーター」が教える。また、「まごころネット」にログインすると、離れて暮らす家族に連絡がいくという見守りサービスも行っている。

ICTリテラシー向上自体を目的とするのではなく、「買い物ができる」という具体的な目的に向かってICTリテラシーを身につけるとい点が特徴的である。また、まごころネットを通じたつながりが、リアルな生活においても促進される効果を期待している。

その他、複数の大学で新生にパソコンを指導する「パソコンライフ応援計画」や小学生向け「子どもネット安全教室」も行っている。

組織概要

NPO法人 TRYWARP

設立:2007年

所在地:千葉県千葉市

千葉県を中心にパソコン教室を開いたり、パソコントラブルに対応するといったパソコンライフサポート事業、WEBソリューション事業を行う

URL: <http://trywarp.co.jp/>



TRYWARPパソコン講習の様子

出所: チャリティプラットフォームHPより

(http://www2.charity-platform.com/navi_view.php?id=445)

2. 子どもが遊びを通じてICTリテラシーを高める取組事例

活動概要

NPO法人CANVASでは、「実践を通じてリテラシーを向上して欲しい」という基本方針があり、情報発信を通じてICTリテラシーを学ぶ取り組みを実施している。2010年には、シロガネ・サイバーポール※(2001年～)と合併して、インターネットトラブルに関するノウハウを強化している。インターネットを利用する上で、必要だと思われる基本的な情報モラルを親子で学ぶ勉強会なども実施し、ICTリテラシー強化に貢献している。

【キッズ地域情報発信基地局】

ICTリテラシーを全面的に組み込んだ、子どもたちによる地域紹介のプロジェクトを行っている。取材した情報を、新聞、ブログ、映像、ポッドキャストの4つのメディアを通じて発信する。その過程で、それぞれの特性を考えさせたり、情報発信の楽しさと同時に気をつけなければならないことを気づかせたりといった工夫をしている。

【せたがやネチケット】

世田谷区とCANVASが共同で行った取り組みである。インターネット上で気をつけなければならないことを、カルタにして遊びながら覚えるという方法を試みた。

※シロガネ・サイバーポールは、インターネット上でのコンテンツ流通や商取引、デジタル・ディバイドについての調査、問題解決及び紛争処理に資する活動を行ってきた団体である。

組織概要

NPO法人 CANVAS

設立:2002年

所在地:東京都墨田区

こども向け参加型創造・表現活動の全国普及・国際交流を推進するNPO

URL:

<http://www.canvas.ws/jp/about/index.html>



「せたがやネチケット」カルタ例 (2008年)

出所: CANVAS HP
(<http://www.canvas.ws/setagaya2008/gallery.html>)



「せたがやネチケット」の様子(2006年)

出所: CANVAS HP
(<http://www.canvas.ws/setagaya2006/report.html>)

3. 高齢者から子どもまで交流を通じて地域のICTリテラシー向上を目指す取組事例

活動概要

NPO法人シニアSOHO普及サロン・三鷹は、高齢者向けのIT／パソコン講座などの活動を展開し、高齢者のICTリテラシー強化に貢献している。講座及び多くの事業を行う中で地域全体のICTリテラシーの向上にも努めている。

【高齢者向けのIT／パソコン講座】

実施内容は、ワードやエクセルからデジタルカメラの使い方、ホームページ作成まで、多岐にわたっている。初心者から上級者までレベルが設定しており、段階に応じて無理なくIT／パソコン技術にふれることができるようになっている。

【ネット安全教室(2009.1～3/実施校5校)】

マイクロソフトと連携して、小学生向けの「ネット安全教室」と題した授業を行ったこともある。パソコン講座で講師の経験があるSOHO普及サロン・三鷹のメンバーが、インターネット利用時のセキュリティやマナーについて指導した。子どもが楽しめるように、振り返りにクイズを用いるなど工夫した。教材には、マイクロソフトの小学校3～4年生向けコンテンツを活用している。

組織概要

NPO法人シニアSOHO普及サロン・三鷹

設立:1999年

所在地:東京都三鷹市

シニアの地域ビジネス参加のプラットフォームとして誕生。コミュニティビジネスを基本として地域課題解決のため、ICTを活用して多種多様な活動を展開している。

URL:

<http://www.svsoho.gr.jp/index.html>



連雀学園三鷹市立南浦小学校で行われた「インターネット安全教室」の様子

出所: 羽野 三千世(2009/01/13)『マイクロソフト, NPOと連携して小学校で「インターネット安全教室」を開催』BPnet ITプロ記事
(<http://itpro.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20090113/322779/>)

4. 子どものケータイの使用法からICTリテラシーを見直す授業などの取組事例

活動概要

NPO法人 企業教育研究会は、企業と連携した授業作りを行っているNPOで、ICTリテラシーについても携帯電話や新聞社などを巻き込んで、様々な授業を実践している。研修会や出前授業を行っており、教材を作るだけでなくその普及・促進に努めている。

【考えよう、ケータイ～情報モラル学習プログラム～】

NHKのドラマを題材にしてケータイの使用法から情報モラルについて学ぶ教材を開発した。ビデオと指導案が提供されているので、先生が授業で使用できる。また、これとは別に、保護者会、PTAの研修会や地域の集まりなどで、先生、保護者、地域の方が利用できる教材も無料で提供されている。

【ケータイ教室防犯・防災講座】

KDDIからの依頼で、ケータイのプラスの面に着目した教材を開発した。具体的に、ケータイの情報技術を活用した安全対策を学ぶ。その他、ソニー・コンピュータエンタテインメントと連携してゲームとのつきあい方を考える授業や、読売新聞社の講師を交えた出前授業を行うなど幅広く取り組んでいる。

組織概要

NPO法人 企業教育研究会
設立: 2002年
千葉大学教育学部、静岡大学教育学部を基盤として活動する「企業と連携した授業づくり」を専門とするNPO
URL: <http://ace-npo.org/>



「考えよう、ケータイ～情報モラル学習プログラム～」の指導案

出所: 企業教育研究会HP (<http://ace-npo.org/info/sbm/teach/modelteach.pdf>)

5. 幅広い年齢層を対象に地域全体のICTリテラシー向上を目指す取組事例

活動概要

NPO法人e-Lunchは、地元・静岡県焼津市の公民館で年配層や主婦を対象とした「親しみやすいパソコン講座」を行っている。基礎・基本を繰り返し教えたり、団体講習だけでなくマンツーマン講習も用意するなど、誰でもパソコンに親しめるように指導している。

また、これからのIT社会に生きる子どもたちの健全育成に寄与することも、e-Lunchの活動の柱の一つと位置づけ、小中学校に赴き、情報モラルを学ぶ「インターネット安全教室(小学生向け講座)」、「ケータイ安全利用教室(中高校生向け講座、講演会)」を開催している。また、保護者や教員向け研修会も実施している。その他、事件やトラブルの未然防止や事前指導につなげる対策として、ネットパトロールも希望者に対して有料で行うとしている。

e-Lunchの活動は、高齢者・主婦・子どもと対象を幅広く設定しており、地域全体のICTリテラシー向上に取り組んでいるといえる。

組織概要

NPO法人e-Lunch(イーランチ)

設立:2003年

所在地:静岡県焼津市

(株)サンロフト※の支援のもと、地域のIT化支援と女性の社会参加の応援を行っているNPO

※「ホームページ制作」と「業務システム開発」の2つのメイン事業を通して、企業や教育機関、市町等の情報化を支えている企業
(サンロフトHP <http://www.sunloft.co.jp/>)

URL: <http://www.npoelunch.jp/>



ケータイ安全利用教室(中高校生向け講座)の様子

出所: e-Lunch HP (<http://www.npoelunch.jp/profile/act6.html>)

6. Webサービス会社による授業や教材でICTリテラシーを学ぶ取組事例

活動概要

ニフティ(株)は、CSR活動の一環として、品川区立小学校向けにICTリテラシー向上・啓発のための出前授業を行っている。これは、品川区独自の「市民科※」の科目で取り入れられ、2008年度から4年間で6,700人もの児童が授業を受けており、高い評価を受けている。開始当時にニフティ本社が品川区にあったため同区で始まった活動だが今後は新宿区などでの展開も検討している。

【出前授業】

「インターネット・ケータイ上の情報は必ずしも正しく安全ではないこと」、「個人情報を送ることの危険性」などについて、実際に起こったトラブルを例に教えている。講師は同社社員が担当。

その他、保護者・教員向けセミナー開催やWeb教材の開発・公開を通してICTリテラシー教育を推進している。Web教材では、ネットコミュニケーションに必要なマナーや相手を思いやる気持ちも伝えている。

※市民科は、品川区独自に小・中学校で開設されている科目である(2006年～)。週に3時間、年間で最低105時間行うことになっている。市民科の目的は、自己管理、人間関係形成、自治的活動、文化創造などと多岐にわたり、インターネットを活用する活動は「自己管理」に位置付けられる(参照:高橋 暁子(2008/09/05)『10代のネット利用を追う:“ネットの未来を守るために”ニフティが考えること』
(<http://internet.watch.impress.co.jp/cda/teens/2008/09/05/20756.html>)

組織概要

ニフティ(株)

設立:1986年

所在地:東京都新宿区

主な事業は、ISP事業とWebサービス事業である。個人、法人向けに様々なサービスを展開している。

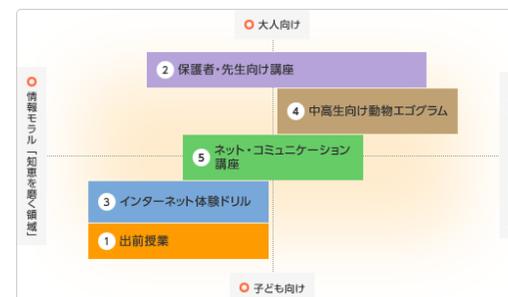
URL: <http://www.nifty.co.jp/>



ニフティのWeb教材『インターネット体験ドリル』の1ページ

出所:高橋暁子(2008/09/05)『10代のネット利用を追う:ネットの未来を守るために』ニフティが考えること』

(<http://internet.watch.impress.co.jp/cda/teens/2008/09/05/20756.html>)



ニフティの情報モラル教育の展開

出所:ニフティHP(<http://www.nifty.co.jp/csr/>)

7. 経済自立につながるICTリテラシーを学ぶ取組事例

活動概要

(株)日本マイクロソフトは、ICTリテラシーの習得が社会参画の一つの重要な手段であると認識し、ICTにアクセスが限られることで、活動の幅が制限される層に対しての積極的な働きかけを行っている。一つの成果として、困難層への就業支援事業が挙げられる。なお、支援形態は、「NPOとの協働」という手段を積極的に行っている。

【女性のためのUPプログラム】

2002年に開始。当初は、DV被害に悩む女性に対して、シェルターに出向き、パソコン講習を実施。ここで学ぶITスキルには、検索の方法、履歴書の書き方など就業につながるものが多く、プログラムを通して自信回復、自立へのきっかけ作りを目的とした。2006年より、全国女性シェルターネットと全国女性会館協議会と協働。中間支援を専門とするNPOと組む事でプログラムの全国展開が可能になった。

【若者UPプログラム】

厚生労働省の事業である地域若者サポートステーションを受託しているNPO(支援対象者は15～39歳の若年無業層)と連携して、就業を見据えたITスキル講習と就労支援に取り組む。プログラム事務局は、サポートステーション事業も受託しているNPO法人「育て上げ」ネット。現場をもつNPOと協働することで支援の幅が広がった。二年目の終わりを迎えるにあたり、スキル講習の受講者も就労率も当初目標予定を大幅に上回っている。

組織概要

(株)日本マイクロソフト

設立:1986年

所在地:東京都港区

事業概要:コンピュータソフトウェアおよび関連製品の営業・マーケティング

URL: <http://www.microsoft.com/ja-jp/default.aspx>



「コミュニティITプログラム」紹介ページ

8. ケータイゲームを中心にICTリテラシー向上を目指す取組事例

活動概要

(株)ディー・エヌ・エーは、同社のサービスであるMobageの健全性維持のための取り組みを通して、ICTリテラシー向上に寄与している。取り組みの目的は、「サイト自体の健全化」と「10代に対するICT関連の教育」の2点である。

【インターネット上での取り組み】

Mobage内では「出会いを求める行為」を全て禁止している。禁止ワードを抽出できるシステムを導入し、目視によるサイトパトロールを行っている。チェックの対象となったユーザーには、理由を提示し注意する。それでも続く場合はペナルティを与え、その後も改善の気配がないとみなされれば強制退会させている。

また、Mobage上に、『ケータイでの健全なネット利用「マナー&セーフティー」』というページを設けて、トラブルに巻き込まれないための留意点や、万が一巻き込まれた場合の対処法を示している。

最近では、Mobage上での監視が厳しいために他サイト(他サービス)への誘導が目立っているため、その書き込みの削除にも力を入れている。

【インターネット以外での取り組み】

学校の企業訪問を積極的に受け入れたり(20~30校/年)、出前授業を行っている。授業は、ワークショップ形式で具体的なトラブルケースを題材としている。また、保護者や教師など大人に対しての講習会も行っている。

組織概要

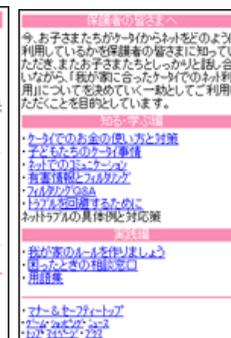
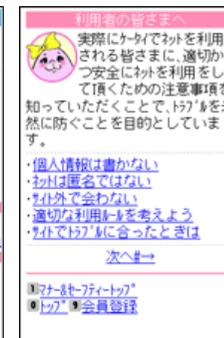
(株)ディー・エヌ・エー(英文名 DeNA Co., Ltd.)

設立:1999年

所在地:東京都渋谷区

Mobageを軸にプラットフォーム事業とソーシャルゲーム事業を展開している。

URL: <http://dena.jp/>



Mobageの「マナー&セーフティー」のページ

出所: DeNA HP (<http://dena.jp/manner/>)

9. セキュリティ知識を学んでICTリテラシーを高める取組事例

活動概要

トレンドマイクロ(株)社は、親子向けセキュリティイベントの開催や、セキュリティに詳しい地域のサポーターの育成など、CSR活動を通じてICTリテラシーの向上に貢献している。一方で、このような問題について意識のない多くの人々にも関心を持ってもらう働きかけが必要だと考えており、特に若年層にこのプログラムを浸透させるには、義務教育への導入や、子どもと接触率の高い主婦層の啓発が重要だと考えている。

【親子向けセキュリティイベント(2004～)】

毎年夏休みに、小学校高学年の子どもと親を対象としたセキュリティ教室を開催し、インターネットの安全な使い方、ウィルスバスターの仕組みなどを教えている。コンピュータウィルスの被害を体験できる動画を用いるなど、教え方にも工夫をしており、年々応募者が増えている。

【SPREAD:セキュリティ対策推進協議会(2004～)への参画】

IT関連会社が連携してセキュリティ対策を講じるために発足された組織であり、同社は会員企業として関わっている。セキュリティ対策情報を「わかりやすく」、「迅速に」、「確実に」浸透させるために、サポーター制度を導入している。関心のある人々を対象に講座・試験を通じてサポーターに認定し、そのサポーターが地域内の人に広めていくという方法をとっている。

組織概要

トレンドマイクロ(株)

設立:1989年

所在地:東京都渋谷区

IT端末機のセキュリティ製品を開発・販売している。

URL:

<http://jp.trendmicro.com/jp/home/>



親子向け夏休みセキュリティ教室(2011年)

出所:トレンドマイクロ社HP

(<http://jp.trendmicro.com/jp/about/eventreport/children/2011/index.html>)

10. 学生がインターネット販売実践を通してICTリテラシーを高める取組事例

活動概要

楽天グループはCSR活動の一環として、「楽天IT学校」を行っている。高校生・大学生を対象に、インターネットの可能性を伝え、体験してもらう出張授業のことで、ICTリテラシーも高められると考えられる。

例えば、2010年に「楽天IT学校」を実施した埼玉県立岩槻商業高校では、ネットショップの基本やマーケティングを学びながら、地元にある楽天の出店店舗「草加煎餅ほりる」のせんべいをプロデュースした。実際に、販売しページの感想や反響を知ることができ、フィードバックもあった。

ネットショッピングモール「楽天市場」に出店する地元企業の協力を得て、楽天、地元企業、学生が関わる新しいスタイルの授業だと言える。学生は、販売戦略の立案、ホームページ作成による売り場の構築、商品プロデュースなどを体験することにより、インターネットに関する理解を深めることができる。

また、主に小中学生の子どもを対象にインターネットを正しく安全に利用するための授業や保護者・教師向けの講座も行っている。実際に、プロフィールサイトを見ながら議論をするなど、インターネットを使う子供の立場にたって考えられるような工夫をしている。

組織概要

楽天(株) 設立:1997年

所在地:東京都品川区

楽天市場をはじめとするEC、トラベル、ポータル、金融など、様々なサービスを提供するインターネット・サービス企業。

URL: <http://corp.rakuten.co.jp/>



活動の流れ(埼玉県立岩槻商業高校)

出所: 楽天IT学校HP (<http://item.rakuten.co.jp/soka-horii/csr-iwatsuki-201104>)

実際に学生が作成したページ(埼玉県立岩槻商業高校)

出所: 楽天IT学校HP (<http://item.rakuten.co.jp/soka-horii/csr-iwatsuki-201104>)

